

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-----------------|--|-------------------|-------------------------------------|
| 科目名(英) | 研究ゼミナールB (Seminar of Study B) | | |
| ナンバリングコード | L31205 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 3年 / 後期 |
| 必修・選択区分 | 選択 | | |
| 授業コード | L120561 | クラス名 | 中西研究室 |
| 担当教員名 | 中西 章敦 | | |
| 履修上の注意、 履修条件 | 実施日は履修者と調整のうえ決定します。 外部協力者との調整により変更となる場合がありますが、その場合は講義内でお知らせします。 | | |
| 教科書 | なし | | |
| 参考文献及び指定図書 | 講義内で適宜紹介します。 | | |
| 関連科目 | 教育科目・専門科目全般、研究ゼミナールA | | |

| ○授業の目的・概要等 | |
|------------------|--|
| 授業の目的 | 研究ゼミナールAに引き続き、4年次に実施する卒業研究に向けて、研究室で取り扱っている研究テーマを学習、経験するとともに、研究フィールドを経験しながら研究、実験、調査、分析の手法を学び、自身の研究テーマを決定します。 土木、環境の仕事を理解し、自身の進路の決定に役立てるとともに、業界の活性化について考えていきます。 本講義はディプロマポリシーにある「変化する現代社会の中で、地球規模から地域の環境・景観、身の周りの暮らしに至るまでの諸問題を理解」することを目的としている。 |
| 授業の概要 | 大分県内の土木事業および環境事業の実際の現場に出向き、行政関係者やNPO、地域住民と問題の共有を行い、解決の方向性についてゼミナール形式で質疑応答、討論を行います。 卒業研究に向けて、自身のテーマを定め、テーマについておよび既往研究の調査を発表します。 現在研究室で取り扱っている研究としては、人と河川とが共存する里川についての研究、田ノ浦海岸の利活用に関する研究、別府港海岸餅ヶ浜地区の利活用に関する研究、佐賀関における外来種の駆除に関する研究、グリーンインフラに関する研究があります。この他の内容でも、自身で調査を行い、取り組むことが可能です。 |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング プレゼンテーション 他 |
| 地域志向科目 | カテゴリー I : ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目 |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 中西章敦(大分県土木建築部における大分県の道路・河川・地域づくりに関する行政) 「大分県内の実際の諸問題の現場をテーマに取り上げる実習」 |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|--|---------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確認等) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | ① 地域・現場における問題に関心を持ち、意欲を持って課題解決に取り組むことができる。 | | | 15点 |
| 【知識・理解】 | ② 課題・問題・解決の方向性の把握ができ、その調査、分析方法の基礎が理解できる。 | | 20点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ③ 現場活動において、協力団体や地域関係者とのコミュニケーションをとることができる。 | | | 15点 |
| 【思考・判断・創造】 | ④ 実際の現場における、背景・現状・課題・問題点・解決の方向性を把握できる。 | | 10点 | 40点 |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) |
|--|
| ゼミナールおよび地域活動への参加(出席)を基本とします。(15点) 知識と理解に加え、自身の考え方をどうレポートを課します。(20点) 地域活動でのコミュニケーションをはじめとする取り組み状況を評価します。(15点) テーマについての発表を評価します。(50点) |

| ○その他 |
|------|
| |

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 科目名：研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 担当教員：中西 章敦 授業コード：L120561 | ○授業計画 科目名：研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 担当教員：中西 章敦 授業コード：L120561 |
|---|---|
| 学修内容 | 学修内容 |
| 1. ゼミ活動(1) 卒業研究のテーマ決定に向けて、既往研究の調べ方について学習する。 省庁の発行する白書や、都道府県の作成する長期計画、市町村の策定する総合計画について学ぶ。 | 9. ゼミ活動(1) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。 |
| 予習：研究テーマについて考える。(約2.0h) 復習：Ciniiで実際論文を検索してみる。(約2.0h) | 予習：既往研究のレビュー資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) |
| 2. ゼミ活動(2) 卒業研究のテーマ決定に向けて、既往研究の調べ方について学習する。 省庁の発行する白書や、都道府県の作成する長期計画、市町村の策定する総合計画について学ぶ。 | 10. ゼミ活動(10) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。 |
| 予習：研究テーマについて考える。(約2.0h) 復習：Ciniiで実際論文を検索してみる。(約2.0h) | 予習：既往研究のレビュー資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) |
| 3. ゼミ活動(3) 研究テーマとして取り組みたいと考えているフィールドの調査を行う。 | 11. ゼミ活動(11) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。 |
| 予習：研究フィールドを検討する。(約2.0h) 復習：現場での調査結果のとりまとめを行う。(約2.0h) | 予習：既往研究のレビュー資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) |
| 4. ゼミ活動(4) 研究テーマとして取り組みたいと考えているフィールドの調査を行う。 | 12. ゼミ活動(12) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。 |
| 予習：研究フィールドを検討する。(約2.0h) 復習：現場での調査結果のとりまとめを行う。(約2.0h) | 予習：既往研究のレビュー資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) |
| 5. ゼミ活動(5) 研究テーマとして取り組みたいと考えているフィールドの調査を行う。 | 13. ゼミ活動(13) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。 |
| 予習：研究フィールドを検討する。(約2.0h) 復習：現場での調査結果のとりまとめを行う。(約2.0h) | 予習：既往研究のレビュー資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) |
| 6. ゼミ活動(6) 研究の内容およびフィールドについてのとりまとめを発表する。 | 14. ゼミ活動(14) 自身の研究テーマの発表を行います。 |
| 予習：自身の研究フィールドについてとりまとめ、発表資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) | 予習：自身の研究テーマについてとりまとめ、発表資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) |
| 7. ゼミ活動(7) 研究の内容およびフィールドについてのとりまとめを発表する。 | 15. ゼミ活動(15) 自身の研究テーマの発表を行います。 |
| 予習：自身の研究フィールドについてとりまとめ、発表資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) | 予習：自身の研究テーマについてとりまとめ、発表資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) |
| 8. ゼミ活動(8) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。 | 16. |
| 予習：既往研究のレビュー資料を作成する。(約2.0h) 復習：発表の際に質問された点や疑義について復習する。(約2.0h) | 予習： 復習： |